

〔国際会議発表〕

発表研究者	東京大学 大学院工学系研究科建築学専攻 助教 兪 ハニ	2242111
国際会議名	IEEE Sustainable Smart Lighting Conference (LS2024)	
国際会議主催者	IEEE と連携して、アイントホーフエン工科大学のインテリジェント照明研究所 (ILI) が主催	
開催地	アイントフォーヘン/オランダ	
渡航期間	2024 年 11 月 10 日～2024 年 11 月 16 日 (7 日間)	
発表論文名	The Effects of Natural Landscape Images Using Projector Display on Human Psychophysiology in a Rest Space	

今回、本国際発表助成事業により参加した国際会議「IEEE Sustainable Smart Lighting Conference (LS2024)」は、IEEE が主催する国際会議で、世界各国から照明科学技術の分野における研究者が集う場である。この会議では、照明システム、照明工学、光学、情報工学、人間への影響、建築、応用など、幅広いトピックが議論され、最新の研究成果を発表される。今年のテーマ「持続可能でスマートな照明」は、環境への配慮と人間のニーズの調和を目指すものであり、持続可能な未来に向けた照明技術の重要性を再認識させるものであった。

私の研究テーマである「プロジェクター画像演出を利用した人間への影響」は、LS2024 のテーマと密接に関連しており、この国際会議への参加は、自身の研究を国際的な文脈で居続け、さらなる発展を目指す絶好の機会となった。また、世界中の研究者や専門家と直接交流し、議論することで、グローバルな視点を養い、研究の質を向上させることを目的としていた。さらに、国際的なネットワークを構築し、照明分野における知見を深めることで、研究活動の幅を広げることが期待される。

本会議では、口頭発表者として選拔され、「The Effects of Natural Landscape Images Using Projector Display on Human Psychophysiology in a Rest Space」という題目で発表を行った。発表後には、多くの研究者から質問や意見が寄せられ、プロジェクターを活用した新たな照明演出の可能性について

高い関心を得ることができた。これにより、以下の成果を得た：

- ・世界各国の専門家から貴重なフィードバックを受け、研究の課題や新たな視点を発見した。
- ・照明分野における国際的なネットワークを構築し、今後の共同研究や情報共有の機会を広げることができた。
- ・研究を国際的に発信することで、その社会的意義や応用可能性を再確認し、さらなる研究のモチベーションを得た。

また、LS2024 のソーシャルプログラムの一環として、アイントホーフエン中心部で開催された「Glow Festival」にも参加した。このフェスティバルは、学生照明デザインスタジオ **Team IGNITE** が主催し、照明デザインを通じてデザインとテクノロジーのギャップを埋めるとともに、未来のクリエイティブエンジニアを育成する目的で開催されたものである。研究活動だけでなく、教育機関の社会貢献にもつながる意義深い展示を体験することで、照明デザインのさらなる可能性を感じることができた。

本助成事業を通じて、貴重な国際会議への参加と発表の機会を得ることができたことに深く感謝する。この経験を活かし、持続可能でスマートな照明技術の発展に貢献するとともに、自身の研究キャリアをさらに前進させる所存である。改めて、財団の皆様にご心より御礼申し上げる。